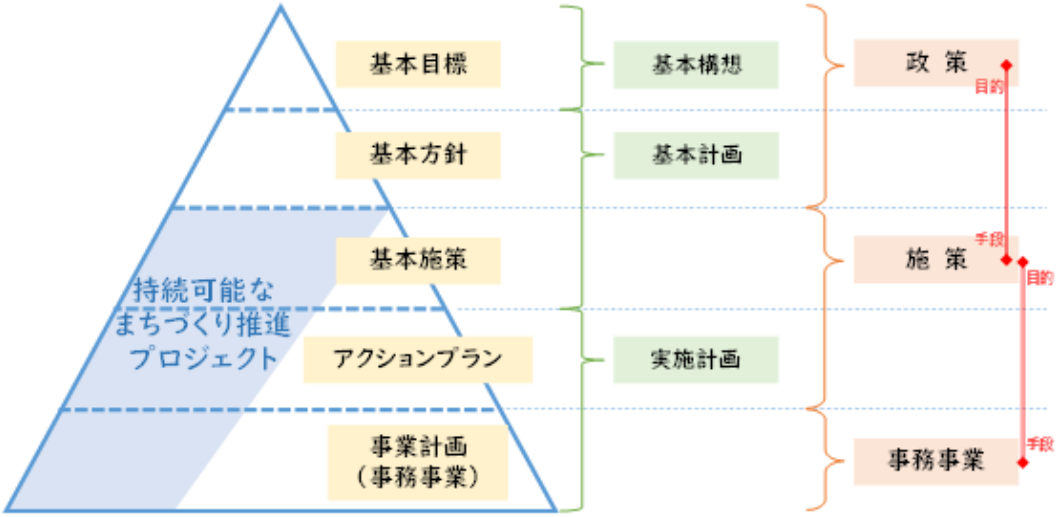
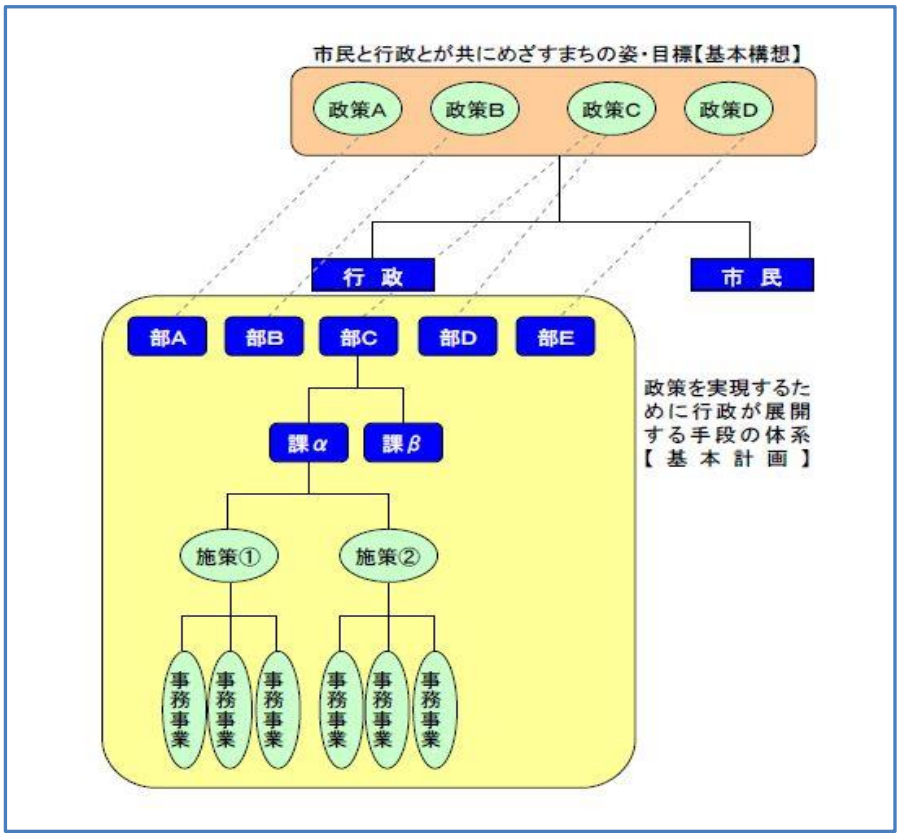
施策評価について

「施策」とは、行政が市民とともに目指すまちの姿（これを「政策の基本目標」または「政策」と呼んでいます。）を実現するための手段や方向性です。また、この施策を実現するために、行政が資源を投入して講じる具体的な手段を「事務事業」と呼んでいます。これは北上市総合計画の考え方と共通するものです。



※当市の総合計画において、「施策」は「基本施策」と記載しています。



各課で実施している事務事業について、政策体系や事業類型で整理し目的を明確化して、人件費等を含めたフルコストを把握し、そこで得た情報を基に施策評価を実施していますが、これは次の役割を持たせたツールと考えます。

1）施策の進捗状況と課題を把握する。

2）施策の次の展開戦略の方向性を検討する材料とする。

3）施策を実現するための事務事業が適切か、改廃の検討を行う。

4）経営資源が限られる中で、まちづくり全体を俯瞰し、施策ごとに経営資源の配分上の重み付けを行う材料とすること。

これにより、「北上市総合計画」を市民とともに実現していくため、「計画―実施―評価―改善」という循環サイクルをつくり、「市民参画を推進しながら政策の精度を高めていく」ことを目指し、総合計画をもとにした政策管理を図っていくものです。

■令和4年度実施事業に係る施策評価（基本施策事後評価）について

【評価シート】

北上市総合計画 2021～2030 令和　年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和　年度）

基本方針	10.まちづくりを支えるしくみづくり
基本施策	10-1.効果的･効率的な行政運営
関連するプロジェクト	10.自治体のスマート化プロジェクト

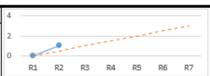
市民に信頼される行政経営を行うため、市民意見の反映による透明性の確保を図りながら、「スマート自治体」に向けた取組と組織の最適化による効率性と生産性の向上を進めると同時に、選択と集中による適切な投資と財源の中長期的なバランスを確保する財政運営の健全化を推進します。また、安定した財政基盤を確保するため、市税収入等の収納率の向上を図るとともに、公有財産の活用など様々な財源確保策に取り組みます。

評価項目		
	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	理由（政策推進会議における内容）

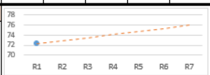
No.	担当部等	プロジェクト	推進方針		成果指標	達成状況（対象：R3）（上段：指標に基づくもの　下段：指標以外のもの）	達成状況評価	達成状況分析（上段：指標に基づくもの　下段：指標以外のもの） 内部要因	外部要因	今後の方向性（◇：R4に着手予定･着手済み　◆：R5以降の着手を検討）
1	企画部	●	自治体DXの推進	住民の利便性向上のため、情報基本計画に沿って、マイナンバーカードを活用した行政サービス等、デジタル行政サービスの提供を推進する。また、業務生産性向上に資するシステム導入、ICT業務環境の構築、データ利用による政策形成等を図り、スマートワークを実現する。	①②⑥					
2	企画部		効率的な組織運営と適正な人員配置	限られた時間の中で計画的かつ効率的に業務を行うためのICTの利活用などスマートワークに向けた取組みを強化するほか、行政マネジメントシステムのサイクルの中で組織運営の課題解決を図る。人員配置においては、職場環境ヒアリングや内部監査を実施し、最適な配置の検討を行う。	③					

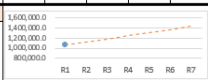
凡例　実績値　期待値

指標①	指標の説明							
マイナンバーカードを活用したサービス数	マイナンバーカードを活用した市の行政サービスの数（年度末時点でのサービス数。確定申告等国が整備したサービスは対象外。）							
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企画部		実績値	0	1					
		期待値 ※R7は目標値	0	1	1	2	2	3	3
		備考							

指標②	指標の説明							
行政サービスの手続きのしやすさ（今後市民意識調査等で設定）	今後設定	-						
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企画部		実績値							
		期待値 ※R7は目標値							
		備考							

指標③	指標の説明							
住民千人当たり職員数（普通会計）	地方公共団体定員管理調査に回答する4月1日現在の職員数							
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6
企画部	人	実績値	6.67	6.65				
		期待値 ※R7は目標値	6.67	6.67	6.67	6.67	6.67	6.6
		備考						

指標④	指標の説明							
広報紙・ホームページなどの情報発信の内容のわかりやすさ（市民意識調査）	市民意識調査の設問「北上市の広報紙・ホームページ、ラジオ番組の情報発信の内容はわかりやすいと思いますか」に対し、「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した市民の割合							
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企画部	%	実績値	72.2						
		期待値 ※R7は目標値	72.2	72.8	73.5	74.1	74.7	75.4	76
		備考							

指標⑤	指標の説明							
ホームページへのアクセス件数	北上市公式ホームページの年間アクセス数（セッション数）							
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6	R7
企画部	件	実績値	1,060,660						
		期待値 ※R7は目標値	1,060,660	1,123,217	1,185,773	1,248,330	1,310,887	1,373,443	1,436,000
		備考							

指標⑥	指標の説明							
市政に対して意見・要望できる機会や方法の確保（市民意識）	広聴機会の充実度に関する市民アンケート調査結果							
担当部等	単位		R1（現状値）	R2	R3	R4	R5	R6
企画部	%	実績値	34.70					
		期待値 ※R7は目標値	34.70	37.25	39.80	42.35	44.90	47.4
		備考						

北上市の令和４年度実施事業に係る施策評価は、まず『北上市総合計画2021-2030』の基本計画で定める施策の区分（22施策）ごとに上図のような「基本施策事後評価シート」をそれぞれ作成し、次のような手順で評価を実施しました。

〈1次評価：部単位〉

１）　総合計画の位置づけを確認する。

※この施策は総合計画でどのような目的（政策）のもとにあるのかを確認します。

２）　施策の成果の定義と成果指標の推移などの状況を確認します。

※成果の定義と指標は、総合計画策定の際に定めたものを基本としています。指標の基準年度は令和元年度ですが、指標によっては違う年度が基準になっている場合もあります。

３）　指標と指標以外の状況から、達成状況を総合的に把握する。

※また、達成状況は４段階評価（順調、概ね順調、やや遅れている、遅れている）により行います。

４）　達成状況については、指標と指標以外の項目について、その外部環境と内部要因というふたつの視点で分析します。

５）　今後の方向性

達成状況分析を受けて、主に令和元年度以降どののように施策を展開していくのか、具体的に事務事業をどのように進めていくのか（あるいは縮小していくのか）のアクションを記入します。

〈2次評価：政策推進会議〉

１）　１次評価の評価内容について、主に達成状況が妥当かどうか、外部要因・内部要因の分析が十分に整理されているかなどを確認します。

２）　１次評価を基に施策ごとに達成状況の総合判定を行います。

※達成状況は４段階評価（順調、概ね順調、やや遅れている、遅れている）により行います。

３）　それぞれの指標について、施策の進捗状況把握に十分な機能を果たしているかどうか、当初の目標設定が適切であったかどうかを検証します。

〈評価結果を基本構想等審議会で報告〉

１）　政策推進会議で２次評価した結果を北上市基本構想等審議会（※）で報告し、総合計画に掲げる目標達成に向けた各施策の進捗度等を確認します。

※　市の総合計画の策定及び推進に関する事項について審議するため、知識経験者、行政関係職員で組織される。審議会は、市長の諮問に応じ、基本構想及び基本計画を調査審議するほか、市長の求めに応じ、総合計画の推進に関し意見を述べることができる。

◆達成状況の判断基準などは以下のとおりです。

▼指標の達成率の算定方法

ア　達成状況

区　分	達成状況
Ａ．順調	前年度に比して順調に目標値へ近づいているもの。(100%、達成)
Ｂ．概ね順調	前年度に比して目標値にやや近づいているもの。(80%以上)
Ｃ．やや遅れている	前年度に比して目標値からやや遠ざかっているもの。(60%以上)
Ｄ．遅れている	前年度に比して目標値から遠ざかっているもの。(60%未満)

イ　内部要因、外部要因

区　分	内容
内部要因	行政の活動の結果、指標の数値に影響を与えるもの。
外部要因	行政の活動に依らない外部の要因が指標の数値に影響を与えているもの。